

## 工事数量総括表

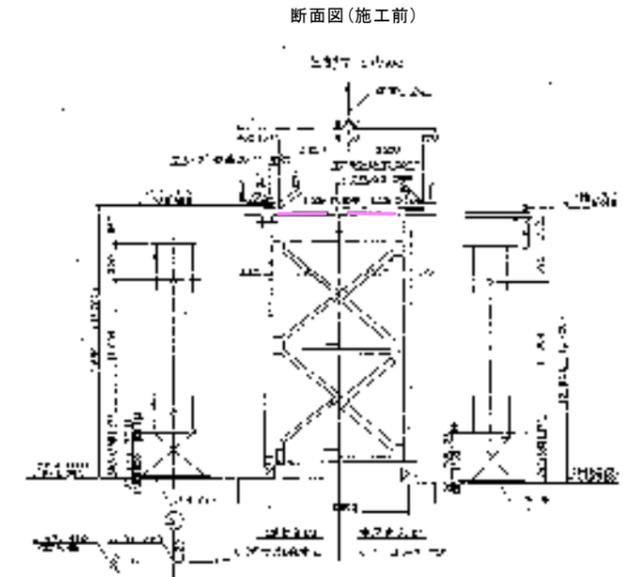
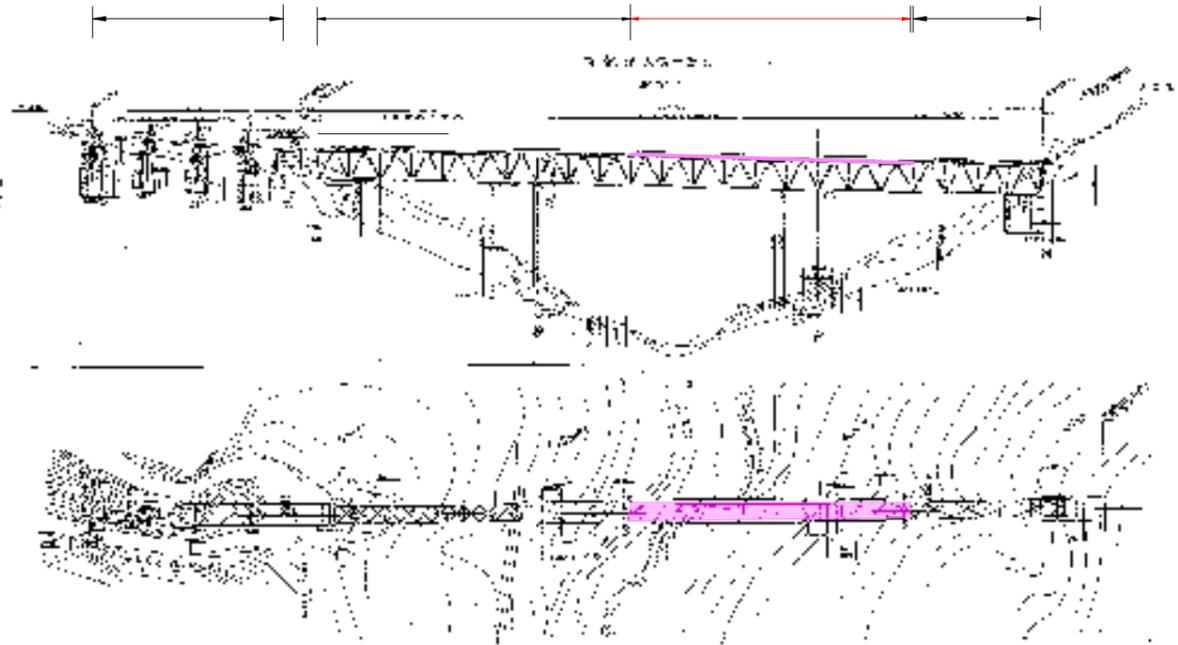
工事名	平成27年度 三才山トンネル有料道路 橋梁修繕工事 鹿教湯大橋(2)					事業区分	橋梁修繕
						工事区分	橋梁修繕
工事区分・工種・種別	細別	規 格 ・算 出 式	単 位	当初数量	変更数量	数量増減	摘 要
鹿教湯大橋			L =	108.0			
橋梁修繕							
床版補修工(下面)	導入路設置工		m	1,867.8			
	下地処理工	サンダーケレン	m <sup>2</sup>	534.2			
	網鉄筋取付工		m <sup>2</sup>	534.2			
	アンカー設置工		本	7,920			
	樹脂注入器具設置工		本	2,838			
	防錆剤散布		m <sup>2</sup>	534.2			
	ホセ`ン材中塗(吹付)工		m <sup>2</sup>	534.2			
	超低粘度エポキシ樹脂注入工		m <sup>2</sup>	534.2			
	ホセ`ンコート材塗布		m <sup>2</sup>	534.2			
仮設工							
足場工	吊り足場		m <sup>2</sup>	999.0			
	朝顔	片側	m <sup>2</sup>	999.0			
	板張防護工	片側	m <sup>2</sup>	999.0			
	シート張防護工	片側	m <sup>2</sup>	999.0			



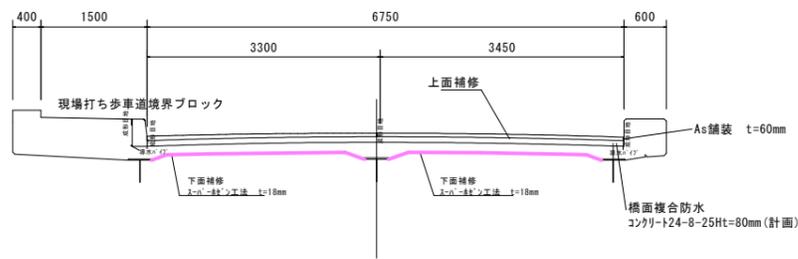
下面補修工				
名 称	規 格	計 算 式	単 位	数 量
注入材導入路設置工	30cm間隔	$2.86/0.3=9.5$ $5.66 \times 10本 \times 33箇所=1867.8$	m	1867.8
下地処理工	サンダーケレン	$2.86 \times 5.66 \times 33箇所=534.2$	m2	534.2
網鉄筋取付工	D6 50mm $\times$ 50mm	$2.86 \times 5.66 \times 33箇所=534.2$	m2	534.2
アンカー設置工	FMS-8 $\phi 8 \times 60$	$5.66/0.3(\text{ピッチ})+1=20本$ $20本 \times 12列 \times 33箇所=7920$	本	7920
樹脂注入器具打設工	テーパ付T型アンカー $\phi 8 \times 60$	$n1=5.66/0.6(\text{ピッチ})=10本$ $n2=5.66/0.6(\text{ピッチ})-1=9本$ $N=(10本 \times 5列+9本 \times 4列) \times 33箇所=2838$	本	2,838
防錆材塗布工	FMプライマー	$2.86 \times 5.66 \times 33箇所=534.2$	m2	534.2
耐蝕性ライニング吹付工	t=18mm	$2.86 \times 5.66 \times 33箇所=534.2$	m2	534.2
樹脂注入工	超低粘度エポキシ樹脂	$2.86 \times 5.66 \times 33箇所=534.2$	m2	534.2
表面仕上げ工	耐蝕性ライニングコート材	$2.86 \times 5.66 \times 33箇所=534.2$	m2	534.2
仮設工	吊足場工	桁高(H $\leq$ 1.5m) $9.25 \times 102.0=943.5$	m2	943.5
	朝顔	片側朝顔 $9.25 \times 102.0=943.5$	m2	943.5
	板張防護工	片側朝顔 $9.25 \times 102.0=943.5$	m2	943.5
	シート張防護工	片側朝顔 $9.25 \times 102.0=943.5$	m2	943.5

H27年度 三才山トンネル有料道路 橋梁修繕工事 鹿教湯大橋

H27年度 橋梁修繕工事 鹿教湯大橋 (2)  
 下面補修 L=102.0m W=6.75m



標準断面図 S=1:50



実施図

平成27年度三才山トンネル有料道路橋梁修繕工事			
番号	1/3	一般図	縮尺 図示
三才山トンネル有料道路(国道254号)			
上田市 鹿教湯温泉 鹿教湯大橋(2)			
所長	課長	照査	設計
長野県道路公社			
設計会社		管理技術者	
		照査技術者	
測量会社		主任技術者	
調査会社		主任技術者	

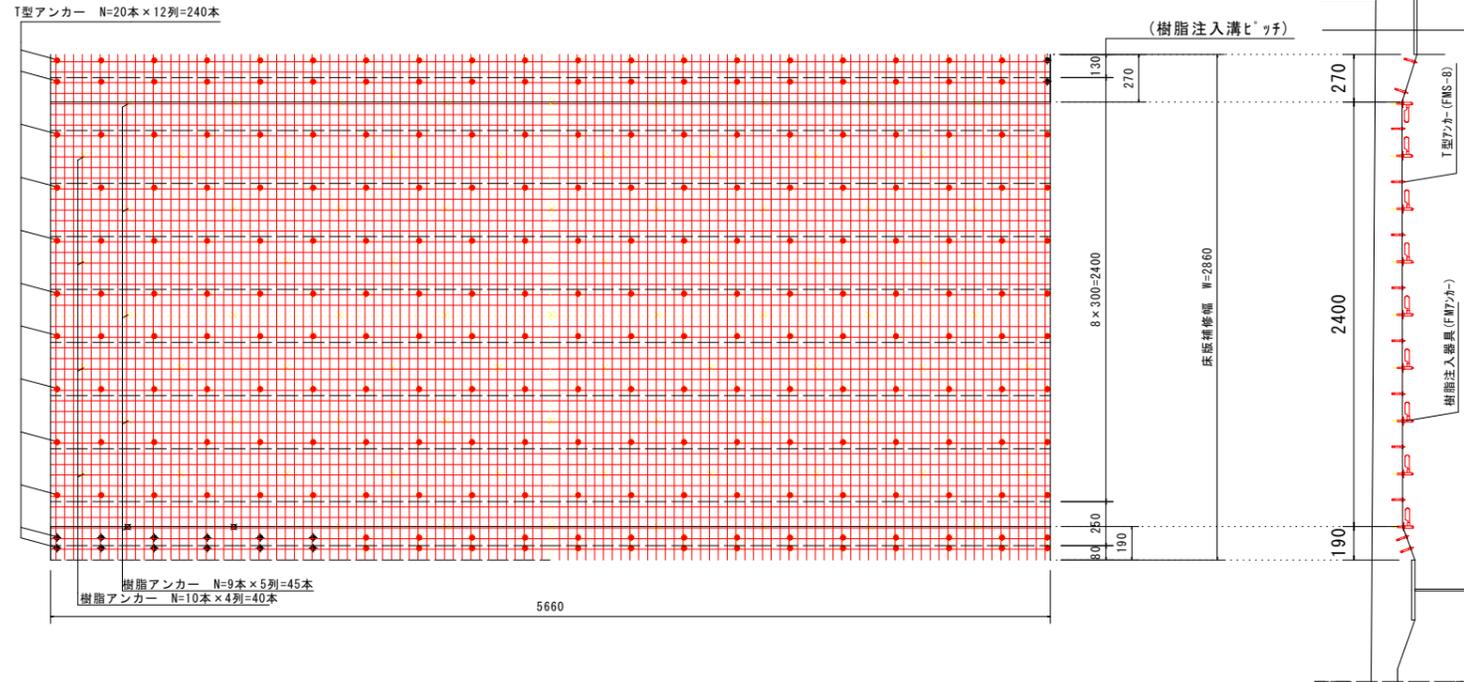
# 標準下面補修図

スーパーホゼン

アンカー配置図 S=1:20

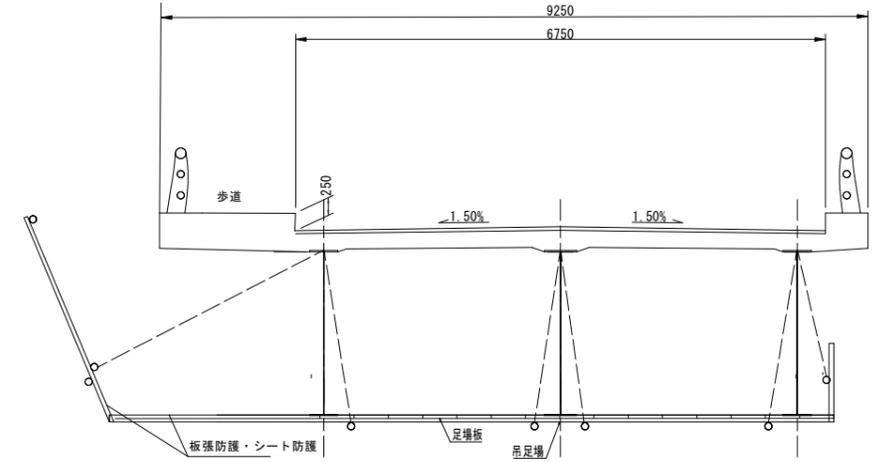
# 鹿教湯大橋 下面補修図

下り車線



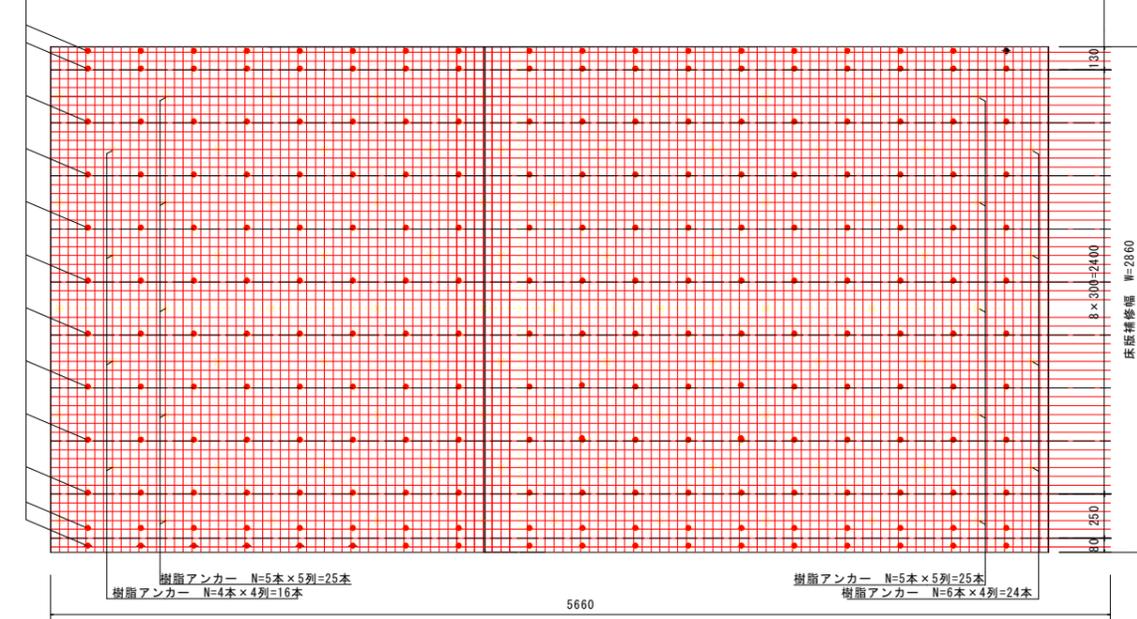
足場工 (参考図)

吊り足場 断面図

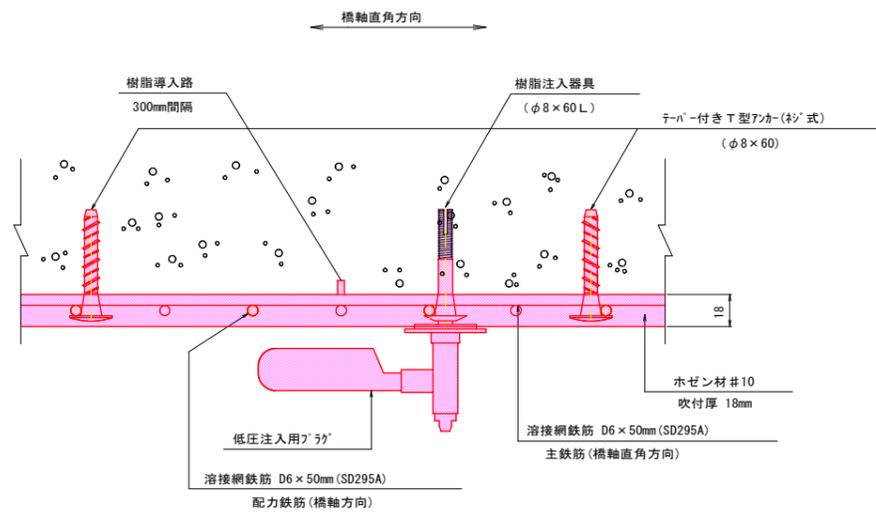


③T型アンカー N=8本×12列=96本  
④T型アンカー N=10本×12列=120本

上り車線



補強断面詳細図 S=1:2



テーパー付きT型アンカー (樹脂式)

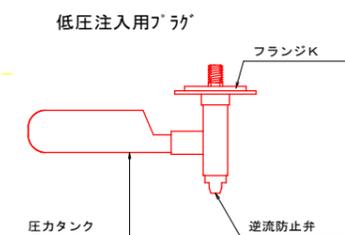
S=1:1

樹脂注入器具

S=1:1

低粘度エポキシ樹脂

S=1:2



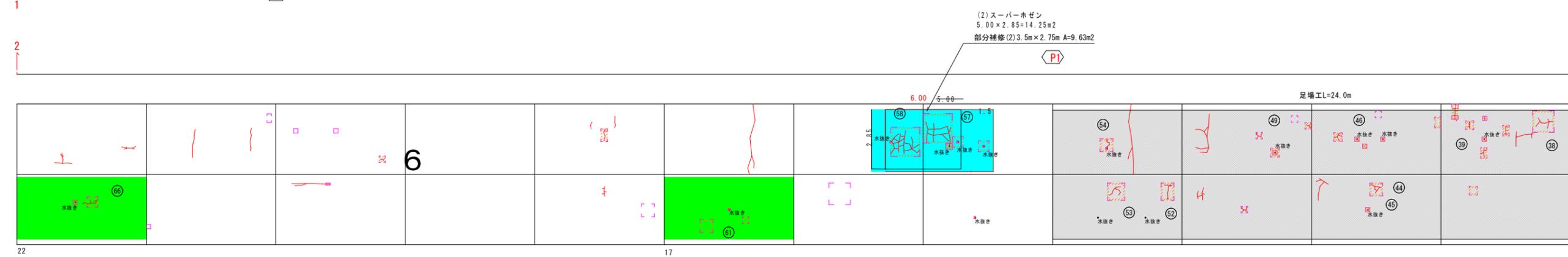
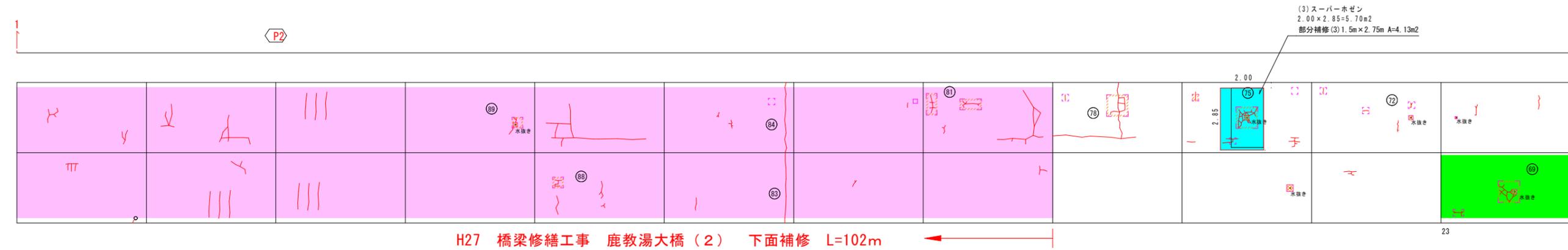
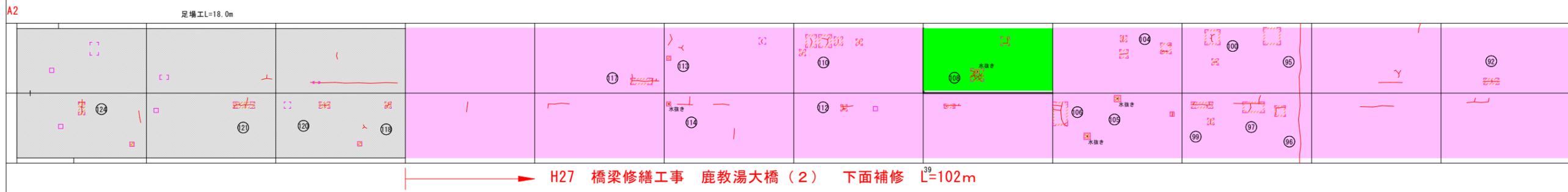
注記)

- 溶接網鉄筋の重ね継手長は30d以上とする。
- テーパー付きT型アンカー(樹脂式) (FMS-8)の本数は、溶接網鉄筋の重ね継手により変更あるものとする。
- テーパー付きT型アンカー(樹脂式) (FMS-8)の打設は、内側(セナ)付近から外方向へ溶接網鉄筋に緊張を与えながら順次打設する。

※アンカーは必ず溶接網鉄筋の交点に打設し  
アンカー本体と鉄筋に、接点があるものとする。

実施図

平成27年度三才山トンネル有料道路橋梁修繕工事				
番	2/3	床版補修工・足場工	縮尺	図示
(国) 254号				
上田市 鹿教湯温泉 鹿教湯大橋 (2)				
所長	補所 佐長	照査	設計	
長野県道路公社				
設計会社	株式会社 長野技研	管理技術者	伊藤	
測量会社		照査技術者	久保田	
調査会社		主任技術者		



スーパーホゼン補修面積集計表

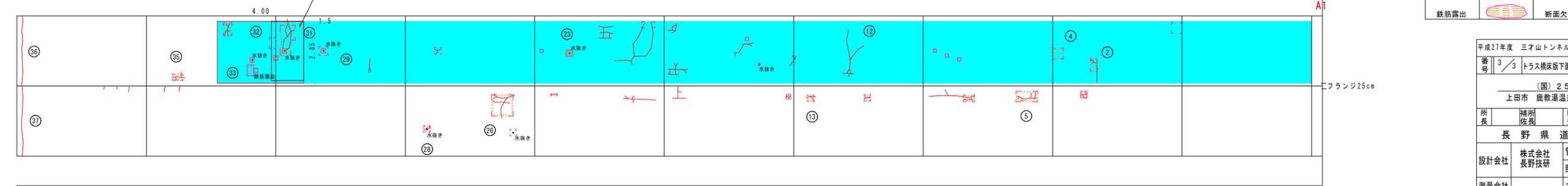
箇所	面積(m <sup>2</sup> )
(1)	11.40
(2)	14.25
(3)	5.70
合計	31.35

(1) スーパーホゼン  
4.00 × 2.85 = 11.4m<sup>2</sup>  
部分補修(1) 1.5m × 2.75m A=4.13m<sup>2</sup>

(下面) 部分補修面積

補修箇所	補修面積(m <sup>2</sup> )
(1)	4.13
(2)	9.63
(3)	4.13
合計	17.89

注記:  
1. 床版の部分補修の位置および範囲は現況の状態を考慮して決定すること。



凡例

損傷の種類	表示	損傷の種類	表示
ひびわれ		遊離石灰	
浮き・剥落		変色	
鉄筋露出		断面欠損	

実施図

平成27年度 三才山トンネル有料道路 橋梁修繕工事

番号	3/3	トラス橋床版下面損傷図	縮尺	図示
(国) 254号				
上田市 鹿教湯温泉 鹿教湯大橋(2)				
所長	補所	照査	設計	
長野県道路公社				
設計会社	株式会社 長野技研	管理技術者	伊藤	
		照査技術者	久保田	
測量会社		主任技術者		
調査会社		主任技術者		